



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名 株式会社クリーム 上場取引所 東  
コード番号 4017 URL <https://www.creema.co.jp/>  
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 丸林 耕太郎  
問合せ先責任者 （役職名） 執行役員 コーポレート ディビジョンGM （氏名） 伊藤 彩紀 TEL 03(6447)0105  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年11月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	1,791	△1.0	△24	—	△7	—	△21	—
2025年2月期第3四半期	1,809	0.1	29	—	29	102.3	42	—

（注）包括利益 2026年2月期第3四半期 △22百万円（－％） 2025年2月期第3四半期 42百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	△3.19	—
2025年2月期第3四半期	6.32	6.31

（注）2026年2月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	3,619	1,083	29.9
2025年2月期	3,366	1,105	32.8

（参考）自己資本 2026年2月期第3四半期 1,082百万円 2025年2月期 1,104百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	0.00	—		
2026年2月期（予想）				—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点において、2026年2月期の配当予想額は未定であります。

### 3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 2,755	% 9.9	百万円 100	% △3.0	百万円 99	% △4.7	百万円 66	% △35.4	円 銭 9.88

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年2月28日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期3Q	6,740,100株	2025年2月期	6,740,100株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	43株	2025年2月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	6,740,057株	2025年2月期3Q	6,734,638株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人のレビュー：無

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2026年1月14日（水）にSBI証券のウェブサイトで機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会をライブ配信で開催し、決算補足説明資料を当社のウェブサイト公開します。

また、決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書.....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書.....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(収益認識関係) .....	7
(1株当たり情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「まるくて大きな時代をつくろう」という企業理念のもと、クリエイターエンパワーメント事業を展開しています。日本ならびに中国語圏におけるグローバルハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーマ)」に加え、同サービスと連携可能な唯一のネットショップ開設サービス「InFRAME」の運営を行うマーケットプレイスサービス、「Creema」のプラットフォームを活用し、出店クリエイター・企業・地方公共団体のマーケティング支援を行うプラットフォームサービス、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (東京ビッグサイト)」等の大型イベントを展開するイベントサービス、さらには、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」、人気アーティストのレッスン動画プラットフォーム「FANTIST」等、クリエイターの活動を支援するサービスを様々な角度から展開し、クリーマ経済圏の確立と、クラフトカルチャーの発展に取り組んでいます。

マーケットプレイスサービスにおいては、季節ごとのトレンドを捉えた各種マーチャンダイジング施策を実施するとともに、YouTubeやInstagram等の動画メディア活用を強化し、クリエイター作品の魅力を訴求することで新規顧客の獲得を進めました。あわせて、SEO対策の強化やアプリ内検索画面のUI改善、プッシュ通知機能のアップデート等に取り組んだほか、インフラ基盤の整備や、購入者・出品者双方が住所や氏名を開示せずに取引できる匿名配送サービス「Creemaあんしん匿名便」の開始、eギフト機能を含むギフト関連機能をはじめとした新たな収益源となる各種機能開発も推進しました。さらに、全国の人気クリエイターによる一点ものやカスタムオーダー作品を厳選した「Creema GIFT CATALOG」の提供を開始し、ギフト市場における新たな顧客接点の創出にも取り組みました。一方で、Web広告市場における広告単価の高騰に加え、検索エンジンのコアアップデートに伴うSEOランク下落の影響が生じました。さらに、前期(2025年2月期)に発生した当社ドメイン名を悪用した「なりすましメール」の横行が長期化したことや、法令対応として導入した3Dセキュア2.0もユーザー行動に一定の影響を与え、流通拡大のハードルとなりました。その結果、当該期間におけるマーケットプレイスサービスの流通総額は109億円(前年同期比96%)、売上高は1,056,157千円(前年同期比96%)となり、前期実績を下回る結果となりました。なお、当第3四半期連結累計期間においては、クリエイター数が約31万人、登録作品数が約2,107万点、スマートフォンアプリの累計ダウンロード数が約1,597万回を突破する等、主要KPIは引き続き堅調に推移しています。

プラットフォームサービスでは、「Creema」のプラットフォームとユーザー基盤を活用し、企業・地方公共団体向けのPR支援を展開する外部広告にて、地方自治体と連携した共同イベント「Creema Craft Caravan」の開催や伝統工芸品・地域産品の販路開拓支援プロジェクト、また、大手不動産会社からのイベントプロデュース受託等、当社ならではのPR企画を多数提案・実施しました。また、クリエイターが「Creema」上で自身の作品をプロモーションできる内部広告においては、利用促進を目的としたプロダクト改善や各種キャンペーンを推進しました。加えて、新作や再販、割引クーポン、送料無料キャンペーン等の情報を、クリエイターがフォロワーのスマートフォンに直接プッシュ通知で届けられる新サービス「クリエイタープッシュ」の提供を開始しました。本サービスはサブスクリプション型であり、クリエイターによる販促活動を強く後押ししつつ、新たな収益源を確保しています。これらの結果、プラットフォームサービスの売上高は514,885千円(前年同期比104%)となりました。

イベントサービスにおいては、「Creema YAMABIKO FES」は今期の開催を見送りましたが、毎年実施している「HandMade In Japan Fes'」については2025年7月19日・20日に例年通り開催しました。その結果、売上高は80,701千円(前年同期比74%)となり、イベント回数が減少した影響から前年水準を下回りましたが、その一方で、「HandMade In Japan Fes'」の売上は前年から大きく伸長しており、計画比でも順調に推移しています。

新サービス群では、クリエイターやものづくり事業者の創造的活動を支援するクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」において、多様なプロジェクトが引き続き起案され、その多くが目標支援金額を達成しました。あわせて、「Creema」と「Creema SPRINGS」における全面的なポイント連携を開始し、「クリーマ経済圏」の強化を通じてユーザー価値の向上を図りました。さらに、レッスン動画プラットフォーム「FANTIST」では、クリエイターが制作・販売するレッスン動画に加え、自社開発による公式コースレッスンの拡充が順調に進み、レッスン動画数は同領域において国内最大級の規模に拡大しました。その結果、新サービス群の売上高は139,747千円(前年同期比139%)と大幅な成長を記録しています。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,791,492千円(前年同期比99%)となり、前年実績を僅かに下回る結果となりましたが、今期は「Creema YAMABIKO FES」の開催を見送った影響が含まれており、これを除いた場合には前年同期比101%となり、緩やかながら成長軌道への回帰が見られております。一方で、新サービス群やプロダクト開発等に対する成長投資を継続・拡大していることから、当第3四半期連結累計期間においては、営業損失は24,014千円(前年同期は29,816千円の利益)、経常損失は7,635千円(前年同期は29,979千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は21,473千円(前年同期は42,566千円の利益)となっております。

なお、当社グループはクリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントで事業を展開しているため、セグ

メント情報に関連した記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,619,215千円となり、前連結会計年度末に比べ252,474千円増加いたしました。主な増減要因は、売掛金が225,584千円減少した一方で、現金及び預金が457,713千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,536,110千円となり、前連結会計年度末に比べ274,806千円増加いたしました。主な増減要因は、前受金が181,965千円、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）が128,869千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,083,104千円となり、前連結会計年度末に比べ22,331千円減少いたしました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失21,473千円の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想については、2025年4月10日の「2025年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,440,590	2,898,304
売掛金	610,822	385,237
その他	25,285	43,283
流動資産合計	3,076,699	3,326,824
固定資産		
有形固定資産	19,295	17,750
無形固定資産		
その他	77,154	105,194
無形固定資産合計	77,154	105,194
投資その他の資産	193,591	169,445
固定資産合計	290,041	292,390
資産合計	3,366,740	3,619,215
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	140,364	208,616
未払金	117,267	180,891
未払費用	73,805	57,126
未払法人税等	12,571	2,561
前受金	75,789	257,754
預り金	1,576,122	1,534,163
賞与引当金	-	12,482
ポイント引当金	13,083	11,134
その他	67,159	25,622
流動負債合計	2,076,162	2,290,351
固定負債		
長期借入金	185,142	245,759
固定負債合計	185,142	245,759
負債合計	2,261,304	2,536,110
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	541,428	541,428
資本剰余金	1,962,548	1,962,548
利益剰余金	△1,398,724	△1,420,198
自己株式	△228	△228
株主資本合計	1,105,024	1,083,550
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△211	△1,069
その他の包括利益累計額合計	△211	△1,069
新株予約権	622	622
純資産合計	1,105,436	1,083,104
負債純資産合計	3,366,740	3,619,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,809,386	1,791,492
売上原価	401,279	360,386
売上総利益	1,408,106	1,431,105
販売費及び一般管理費	1,378,290	1,455,120
営業利益又は営業損失(△)	29,816	△24,014
営業外収益		
受取利息	461	2,925
為替差益	-	637
預り金精算益	4,308	17,946
その他	94	175
営業外収益合計	4,864	21,684
営業外費用		
支払利息	3,856	5,304
為替差損	842	-
その他	3	-
営業外費用合計	4,701	5,304
経常利益又は経常損失(△)	29,979	△7,635
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	29,979	△7,635
法人税、住民税及び事業税	2,810	5,946
法人税等調整額	△15,397	7,891
法人税等合計	△12,587	13,838
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,566	△21,473
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	42,566	△21,473

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	42, 566	△21, 473
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	96	△858
その他の包括利益合計	96	△858
四半期包括利益	42, 663	△22, 331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42, 663	△22, 331
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	29,034千円	31,625千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

(単位:千円)

	金額
マーケットプレイスサービス	1,103,074
プラットフォームサービス	497,217
イベントサービス	108,698
その他	100,396
合計	1,809,386

当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

(単位:千円)

	金額
マーケットプレイスサービス	1,056,157
プラットフォームサービス	514,885
イベントサービス	80,701
その他	139,747
合計	1,791,492

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失 (△)	6.32円	△3.19円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△) (千円)	42,566	△21,473
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△) (千円)	42,566	△21,473
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,734,638	6,740,057
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	6.31円	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	11,125	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	<p>2019年2月26日取締役会決議 第10回新株予約権 新株予約権の数 42個 (普通株式 42,000株)</p> <p>2019年2月26日取締役会決議 第11回新株予約権 新株予約権の数 49個 (普通株式 49,000株)</p> <p>2020年2月26日取締役会決議 第12回新株予約権 新株予約権の数 44個 (普通株式 44,000株)</p> <p>2020年2月26日取締役会決議 第13回新株予約権 新株予約権の数 17個 (普通株式 17,000株)</p>	<p>2016年2月24日取締役会決議 第5回新株予約権 新株予約権の数 13個 (普通株式 13,000株)</p>

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。